

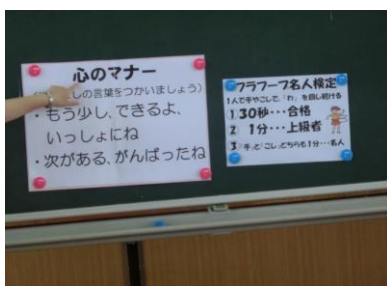
3学年の授業実践

H27年6月5日（金）

- 1 単元名 「多様な動きをつくる運動」
～体を動かす楽しさや心地よさを味わう～
- 2 本時のねらい
用具を使ったり力試しをしたりして、いろいろな動きを身につける。
- 3 授業仮説
グループで用具を使った運動に取り組むことで多様な動きに親しむことができるであろう。
- 4 本時の見所
体ほぐしの運動には、「体への気づき」「体の調整」「仲間との交流」の3つのねらいが示されている。交流の形態は、2人組、グループ、学級全員というように様々である。そして、互いに触れ合い、かかわり合う体験を通して、体への気づきが生まれ、より確かな実感となる。大切な事は、3つの運動のねらいを子どもたちが意識して（意味を理解して）行うように指導することである。
- 5 本時の様子
<導入>



学習のルールの説明



「心のマナー」を大切にしよう



学習の流れの確認

<展開> 用具を使って



力試しの運動



ボールを使ってバランスをとる

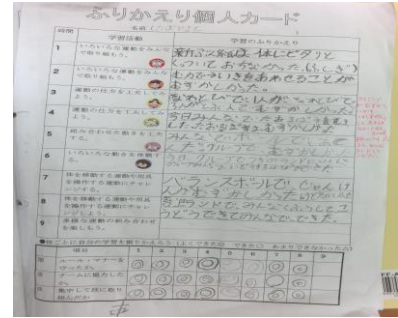
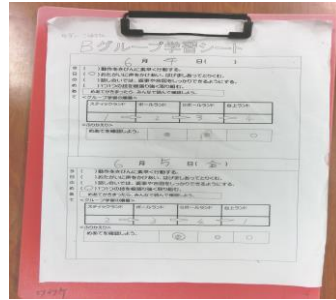


みんなで体の調整をとろう

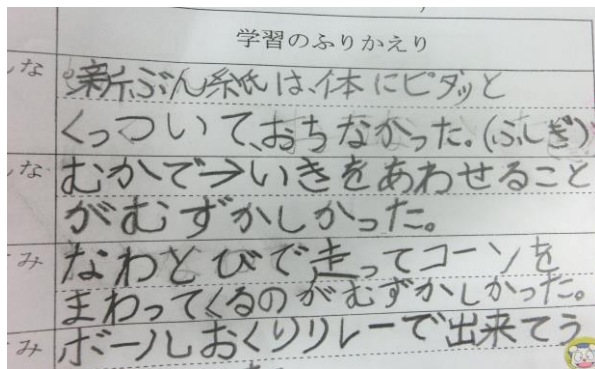


スティックを使っての運動 フラフープで技に挑戦 協力で台上バランスを楽しむ

<まとめ>



グループで、学習の流れを確認 グループでの反省チェック 個人のカード記録 (子どもの感想)



- ・なわとびでは、息を合わせて何度も跳ぶことが難しかった。
- ・2人でボールをまわして、キャッチするのが難しかった。
- ・マットでの回転キャッチのタイミングがなかなかとれない。

6・成果

- 児童が自己の技を習得し、伸ばしていけるような場の設定を工夫することができた。
 - 一人ひとりが、めあてに向かい、スモールステップで運動が楽しくできるように進められた。
 - グループで運動をしながら、中学年なりの仲間意識が育ち、チームで運動をする楽しさを味わうことができた基本的な運動を経験したり、話し合い活動を通して体作り運動への興味・関心、相手の技の良さ気づいたりすることができた。
- 心のマナーを意識して使うことで、お互いの技の良さを見つける気持ちが広がった。

7・感想・反省

今回の授業では、チームの仲間意識を高めるためにグループのリーダーを中心に声かけをしてきた。また、なかなか意見がでない子が返答している様子が見られて良かった。学習の計画の時グループの話し合い活動の形が設けられて良かった。しかし、場の設定では、技の種類が少なかった場が箇所あり、設定の工夫が必要である。

研究協議会では、スティック運動の場合、再度安全確認が必要だという件と、バランスボールの下にマットを敷いた方がよいとアドバイスがあった。心のマナーも、もう少し大きな字で表示すると子どもが見やすく、遠くからでも確認しやすいと指摘があった。今回の反省を踏まえ次の学習に生かしていきたいと思う。

